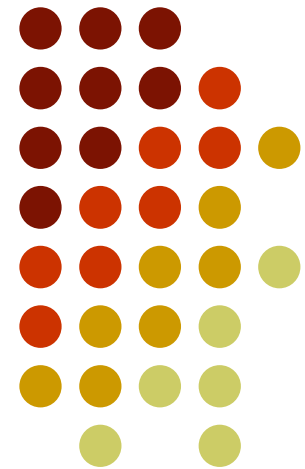


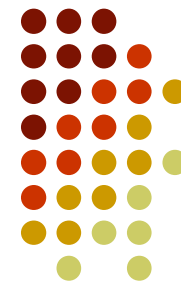
行田市都市計画マスタープラン策定

都市計画審議会

平成23年12月15日(木)



# 1. 行田市都市計画マスタープラン 策定について

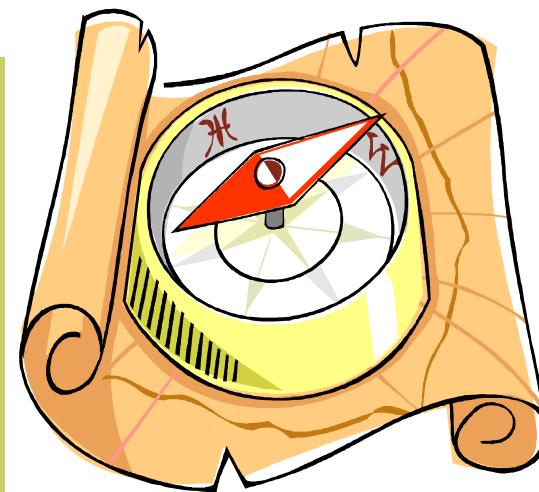


## 1) 都市計画マスタープランとは

- 都市計画法第18条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のこと。
- 市町村マスタープラン

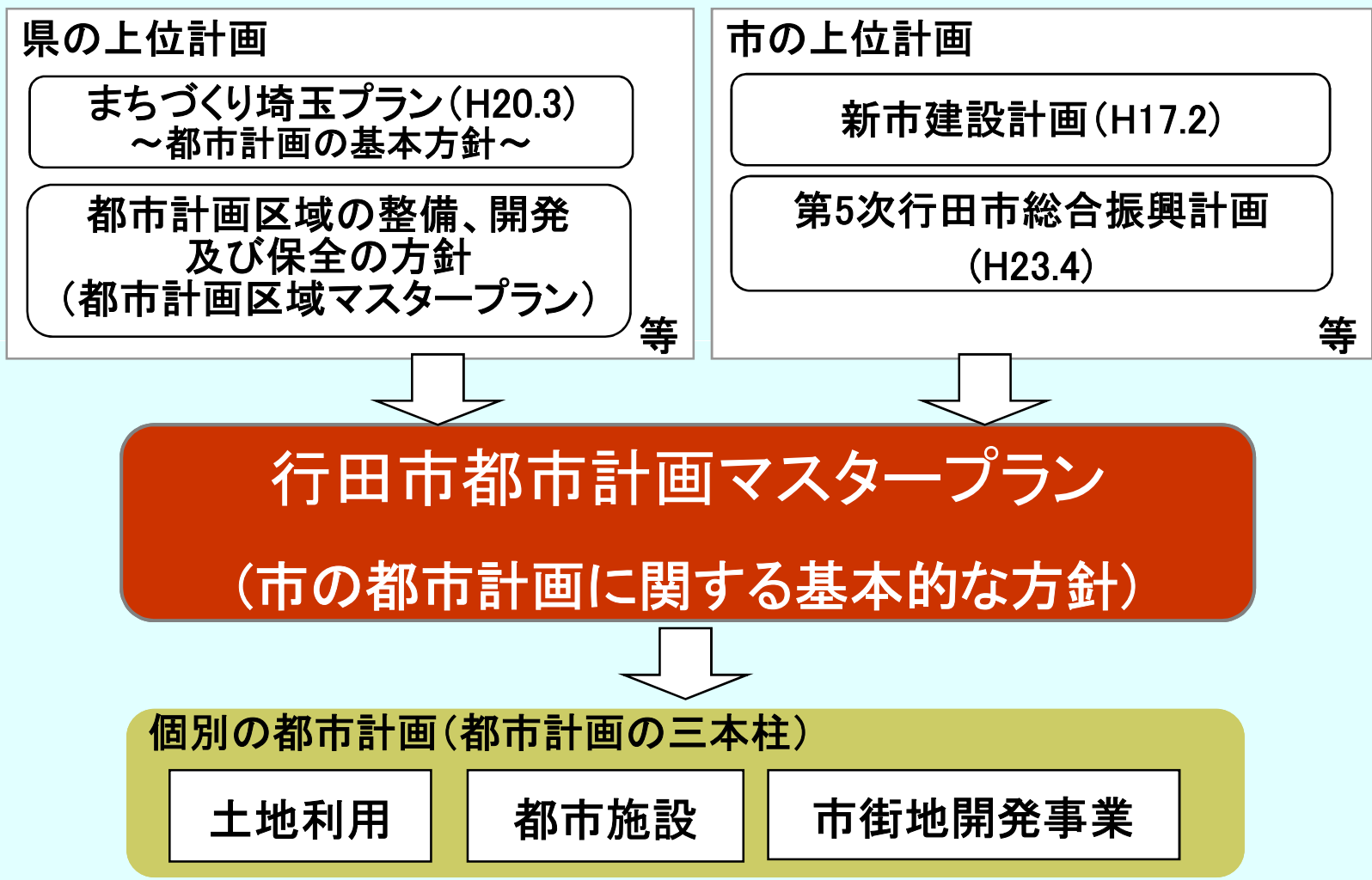


市が目指す、20年後の将来像を明確に示しながら、都市計画に係わる施策を総合的かつ体系的に展開するものであり、都市計画の「羅針盤」の役割を担うもの。





## 2) 都市計画マスタープランの位置づけ



### 3) 新たな都市計画マスタープラン 策定における3つの視点



今後の都市構造の  
あり方を見据えた  
計画づくり

- ・ 人口減少・少子高齢化の進行
- ・ コンパクトシティの考え方への転換
- ・ 中心市街地の空洞化や商業の衰退
- ・ 地域コミュニティの維持

「絵に描いたもち」  
では終わらせない  
計画づくり

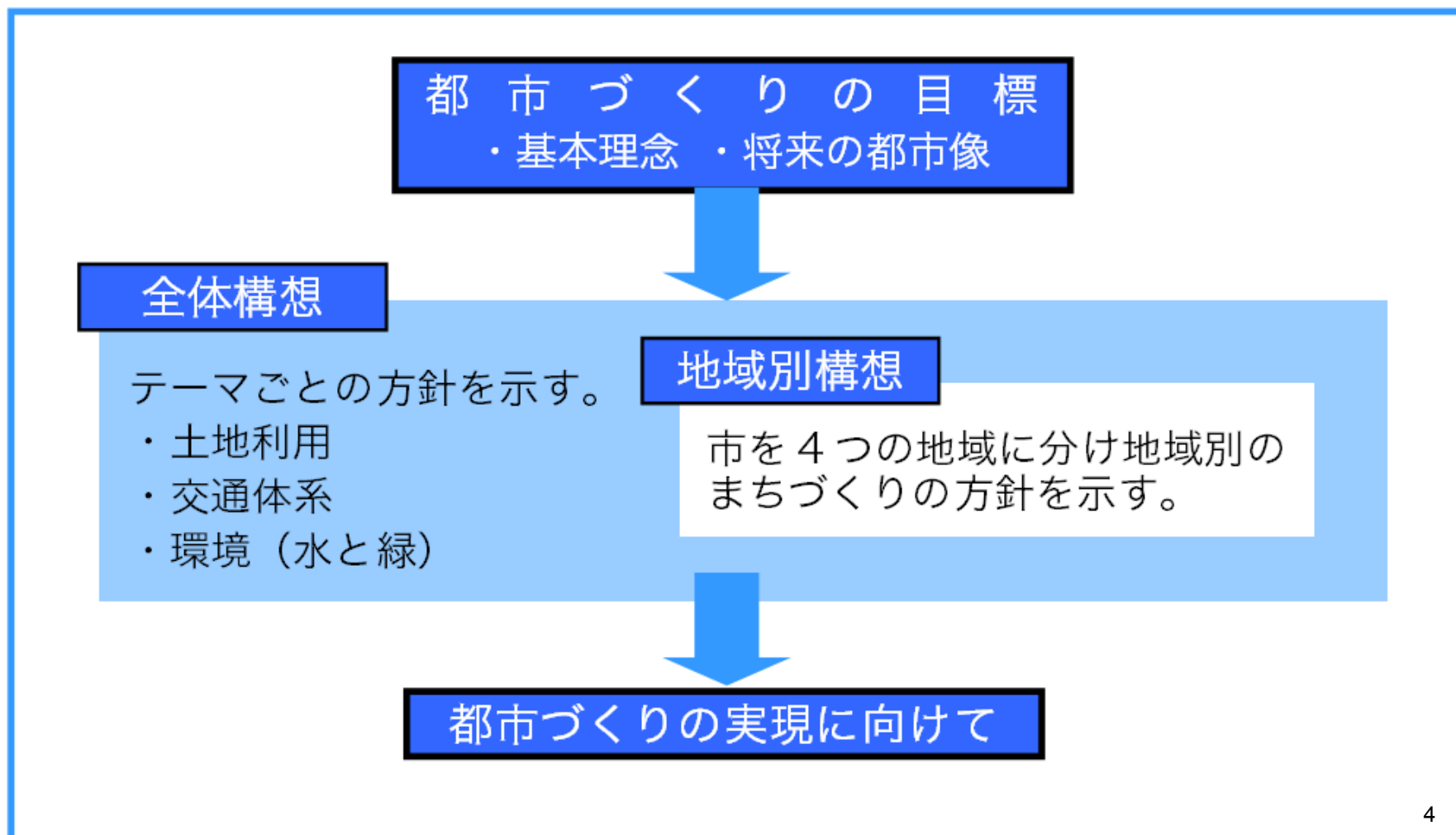
- ・ 共感できる将来のまちの姿を示す
- ・ 実現に向けたプログラムを示す
- ・ 市民と行政の協働により策定する

市民参画による  
「暮らしの視点」を  
生かした計画づくり

- ・ 主役である「市民」の声、感覚や思いを形にする
- ・ 身近な地域資源や地域特性をいかした計画をつくる
- ・ まちづくりの担い手を育てる

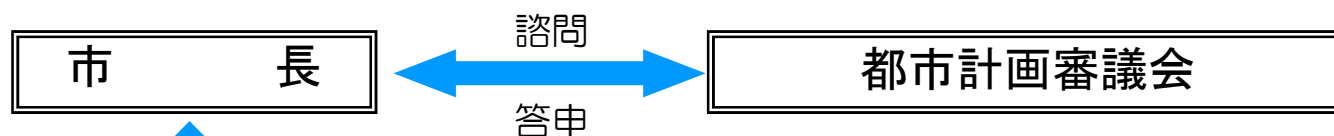


## 4) 都市計画マスタープランの構成





# 5) 都市計画マスタープラン策定の進め方



## ① 策定委員会

学識経験者、議会議員の代表、執行機関の職員、各種団体から推薦された者、行政関係機関の職員、公募の市民により組織し、広い知見から計画全体を検討。

### 検討委員会

(課長級職員)

提案・調整

### 作業部会

(主査級職員)

## ② 市民まちづくり会議

計画の全体構想に係る部分を中心に検討。

### こども会議

市内中学生を対象に1回開催。

## ③ 地域別懇談会

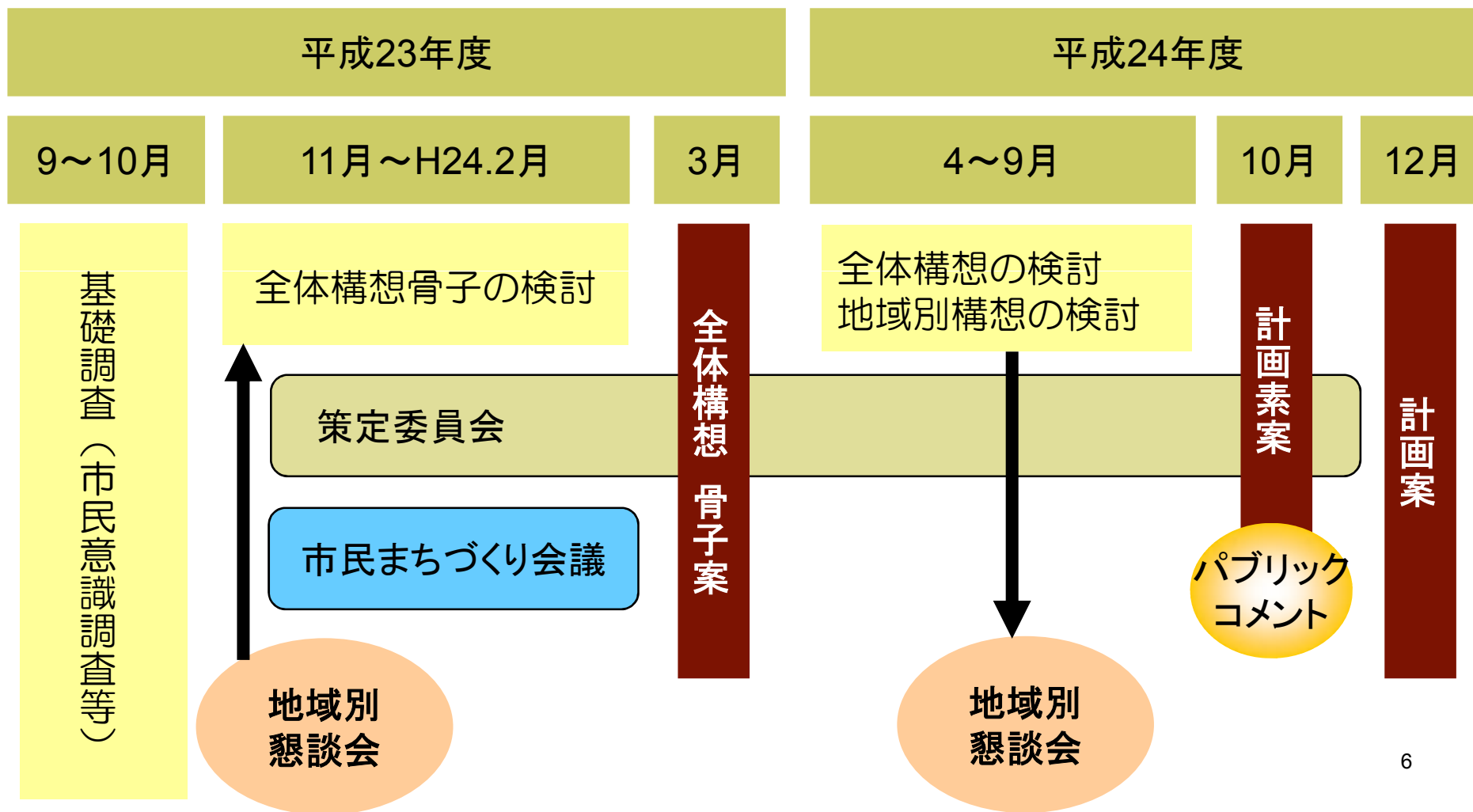
地域別構想に係る部分を検討。  
地域での暮らしの視点から意見交換を行う。

- ・市民意識調査 (3,000名対象、9月実施)
- ・関係団体等との意見交換会
- ・素案に対するパブリックコメント

行田市民



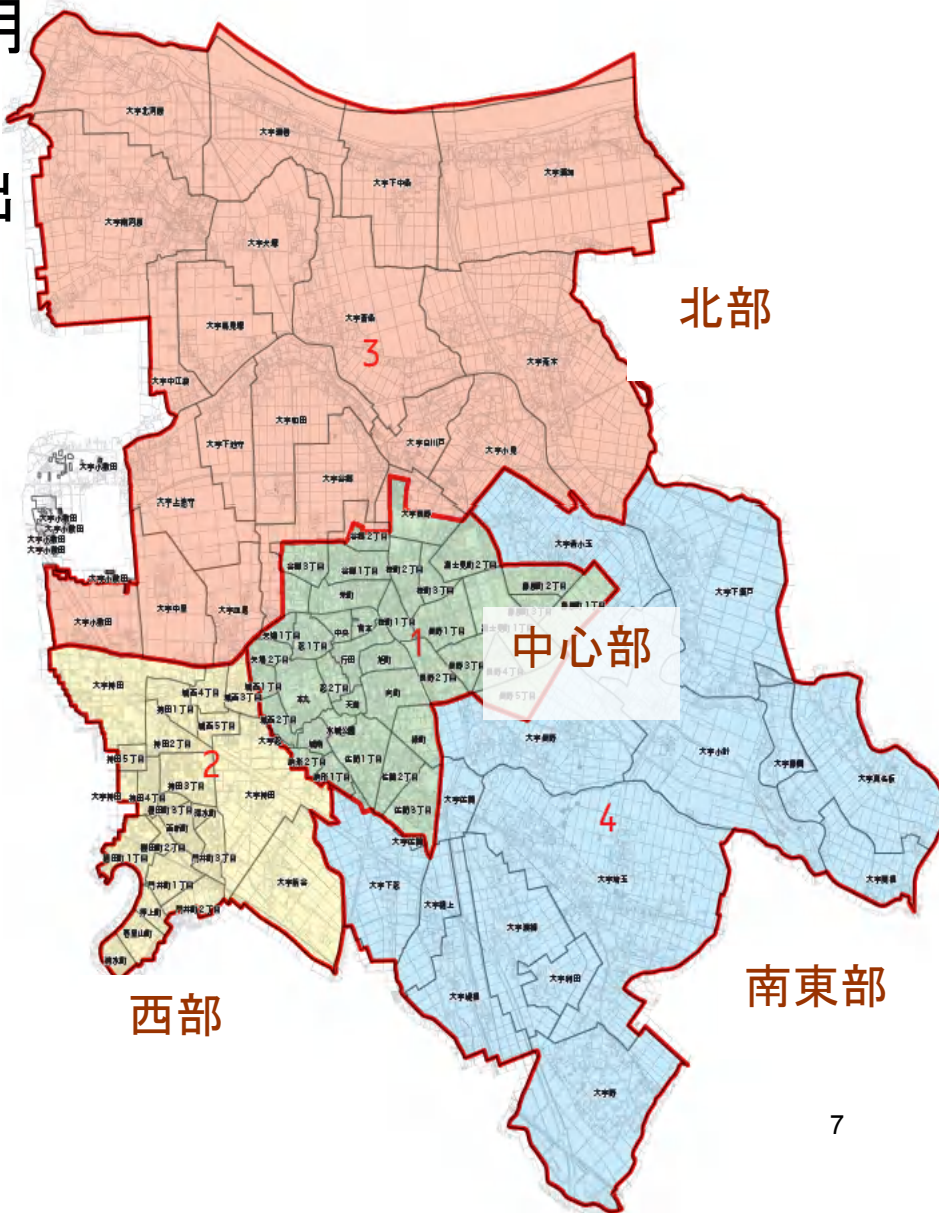
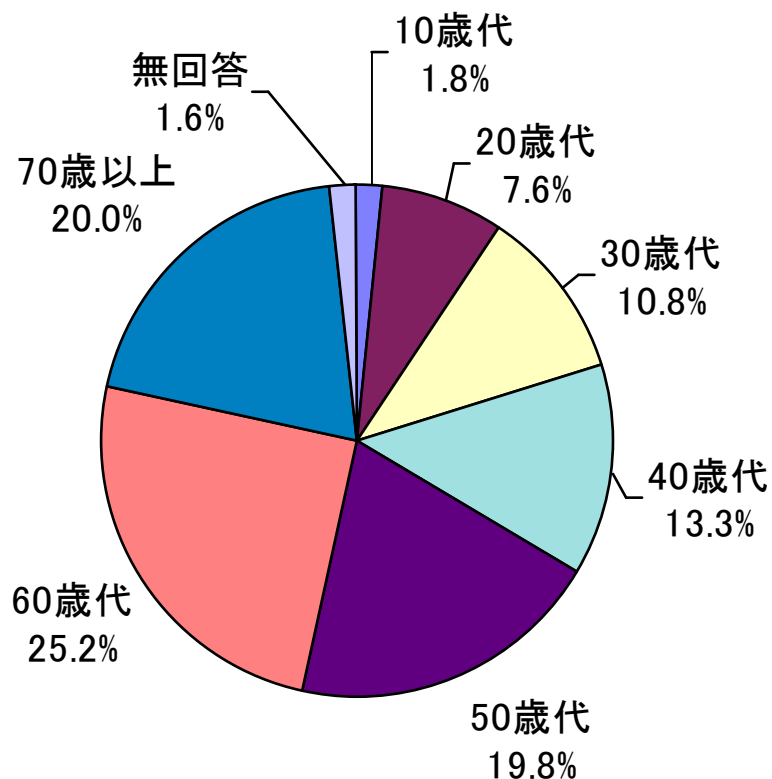
## 6) 策定スケジュール



## 2. 市民アンケート結果の概要



- 実施期間：平成23年9月～10月
- 対象者：18歳以上の方の中から、無作為に約3,000人を抽出
- 回収数 1,132票
- 回収率 約4割





# 問 現在お住まいの地域について



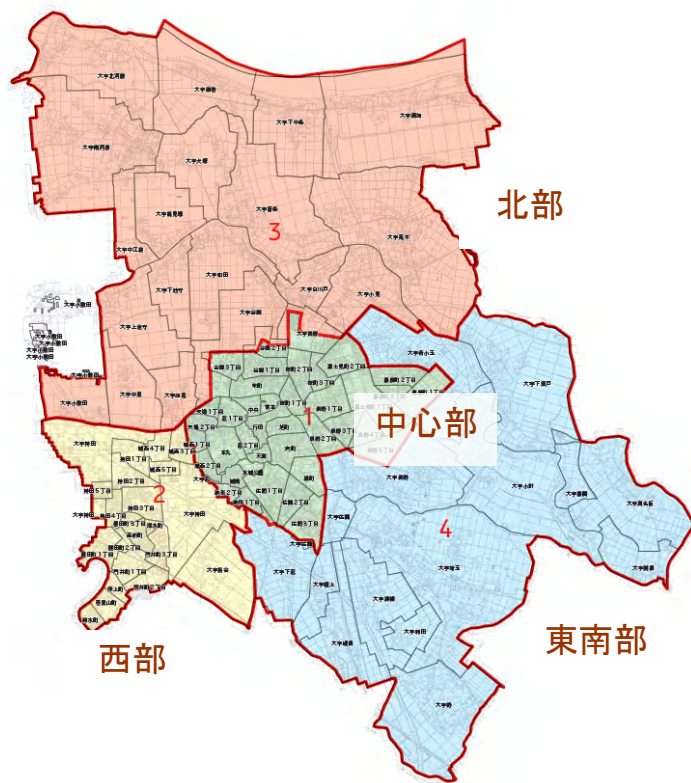
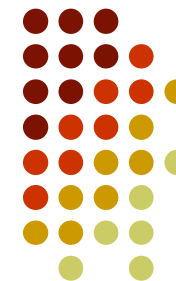
1) 居住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日当たりや風通し</li> <li>●宅地の広さやゆとり</li> <li>●音や振動などの静けさ</li> <li>●下水道やU字溝などの排水施設の整備状況</li> <li>●身近な遊び場や公園の整備状況</li> </ul>
2) 暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活道路の整備状況</li> <li>●幹線道路の整備状況</li> <li>●日用品の買い物の利便性</li> <li>●公共交通（バス・鉄道）の利便性</li> <li>●公共施設へのアクセスのしやすさ</li> <li>●鉄道へのアクセスのしやすさ</li> </ul>
3) 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>●信号機、ガードレールなどの交通安全施設</li> <li>●地震や風水害などへの防災対策</li> <li>●照明灯、防犯灯などの防犯施設</li> <li>●地域での防犯・防災の取り組み</li> </ul>
4) ゆとり、 うるおい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緑や水など自然の身近さや豊かさ</li> <li>●集落や田園などの農村風景の美しさ</li> <li>●住宅地や沿道などの街並みの美しさ</li> <li>●歴史的建造物や文化財などの保全・活用</li> </ul>
5) コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館などのコミュニティ施設の整備状況</li> <li>●地域の交流</li> <li>●高齢者や子どもに対する地域での見守り活動</li> </ul>

「満足」「ほぼ満足」  
の評価が  
半数を上回る項目

●  
「不満」「やや不満」  
の評価が  
半数を上回る項目

# 地域別の傾向

## 【満足度の評価が低い項目】



### 北部・南東部

居住環境

「身近な遊び場等の整備」  
「下水道」

暮らしやすさ

「買い物の利便性」  
「公共施設アクセス」

### 西部以外の地域

暮らしやすさ

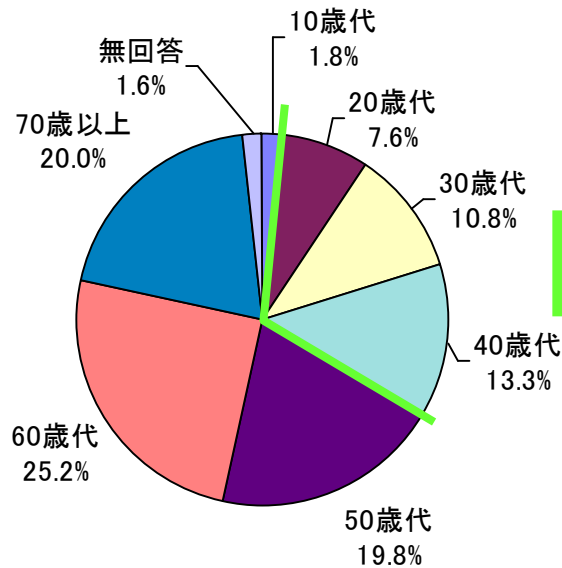
「鉄道へのアクセス」

### 中心部以外の地域

安全・安心

「照明灯等の防犯施設」

## 年代別の傾向



20  
〜  
40代の「子育て世代」

「身近な遊び場や公園の整備状況」  
「照明灯、防犯灯などの防犯施設」  
「公共交通（バス・鉄道の利便性）」  
など、**子育てや通勤・通学**に関連する項目で  
**極端に満足度が低い。**

「緑や水など自然の身近さや豊かさ」  
「住宅地など街並みの美しさ」  
「歴史的建造物などの保全・活用」  
など、**生活にゆとりやうるおいを与える環境**  
**や文化**に関連する項目で**満足度が高い。**

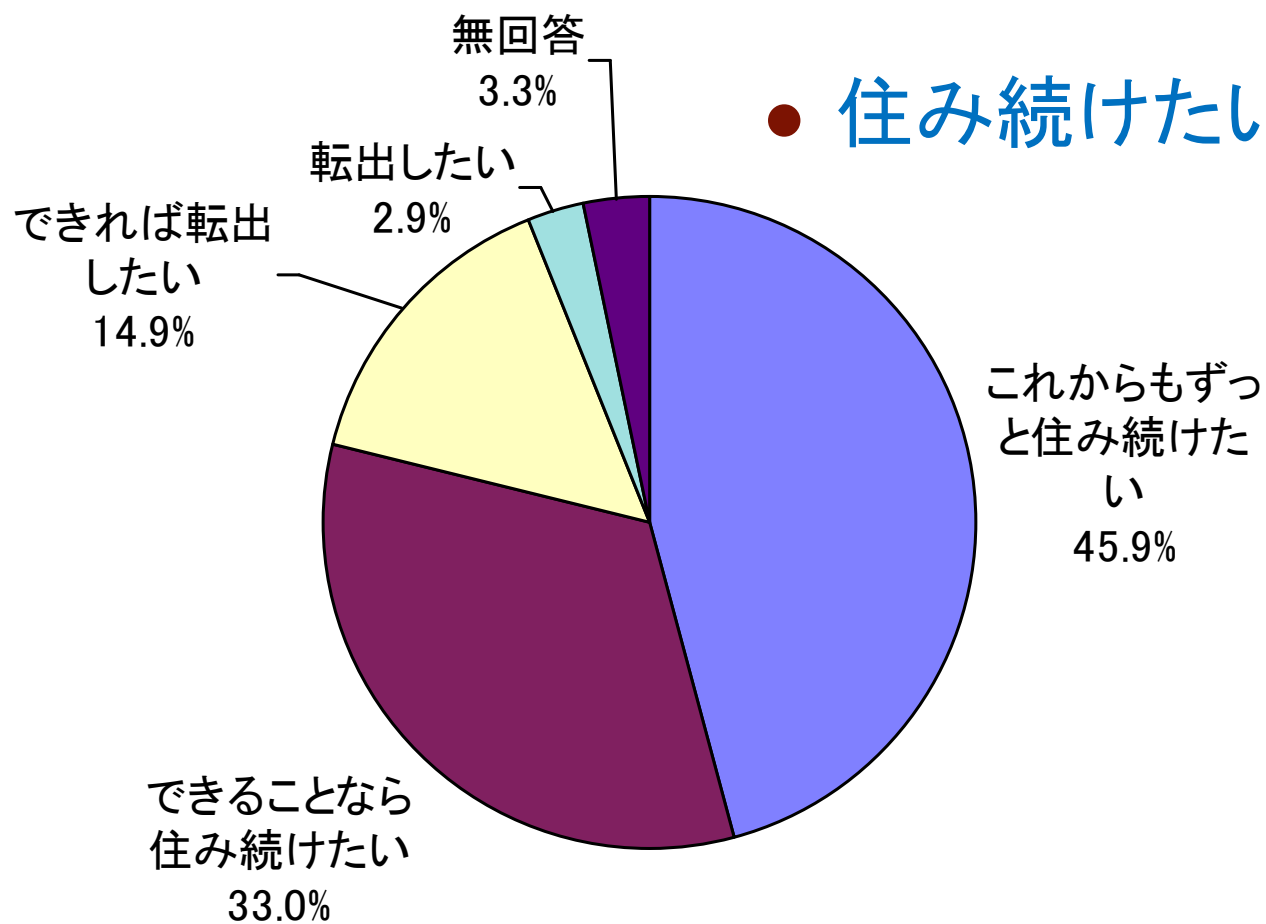
## 男女別の傾向

「街並みの美しさ」「歴史的建造物などの保全・活用」  
「幹線道路の整備状況」  
「地域の交流」

の項目で、**女性の満足度が特に高く**、環境・文化面だけではなく、  
**暮らしを支える都市基盤や地域コミュニティへの関心の高さ**が伺える



### 問3 現在お住まいの地域に住み続けたいか

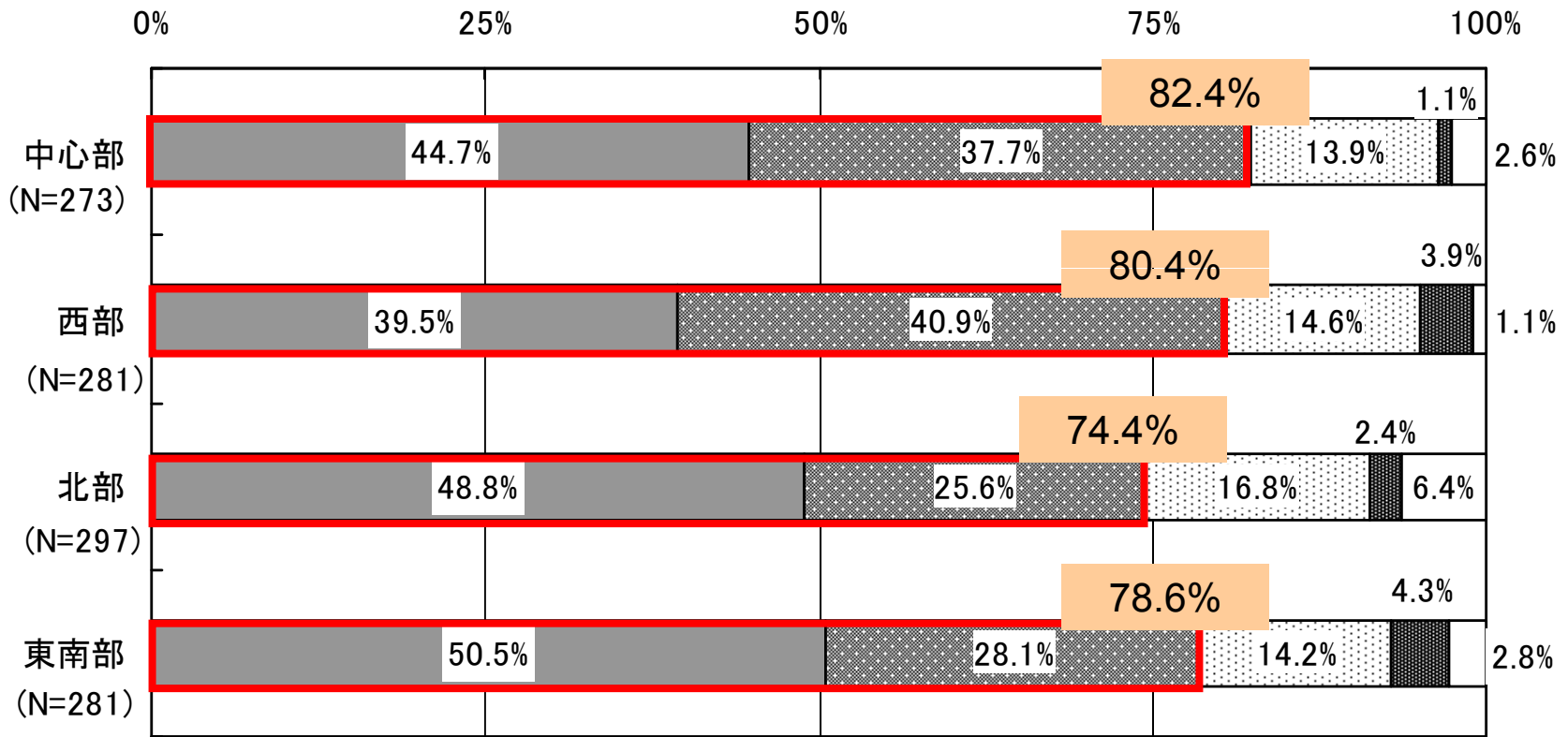


● 住み続けたい人は約8割。

# 地域別の傾向



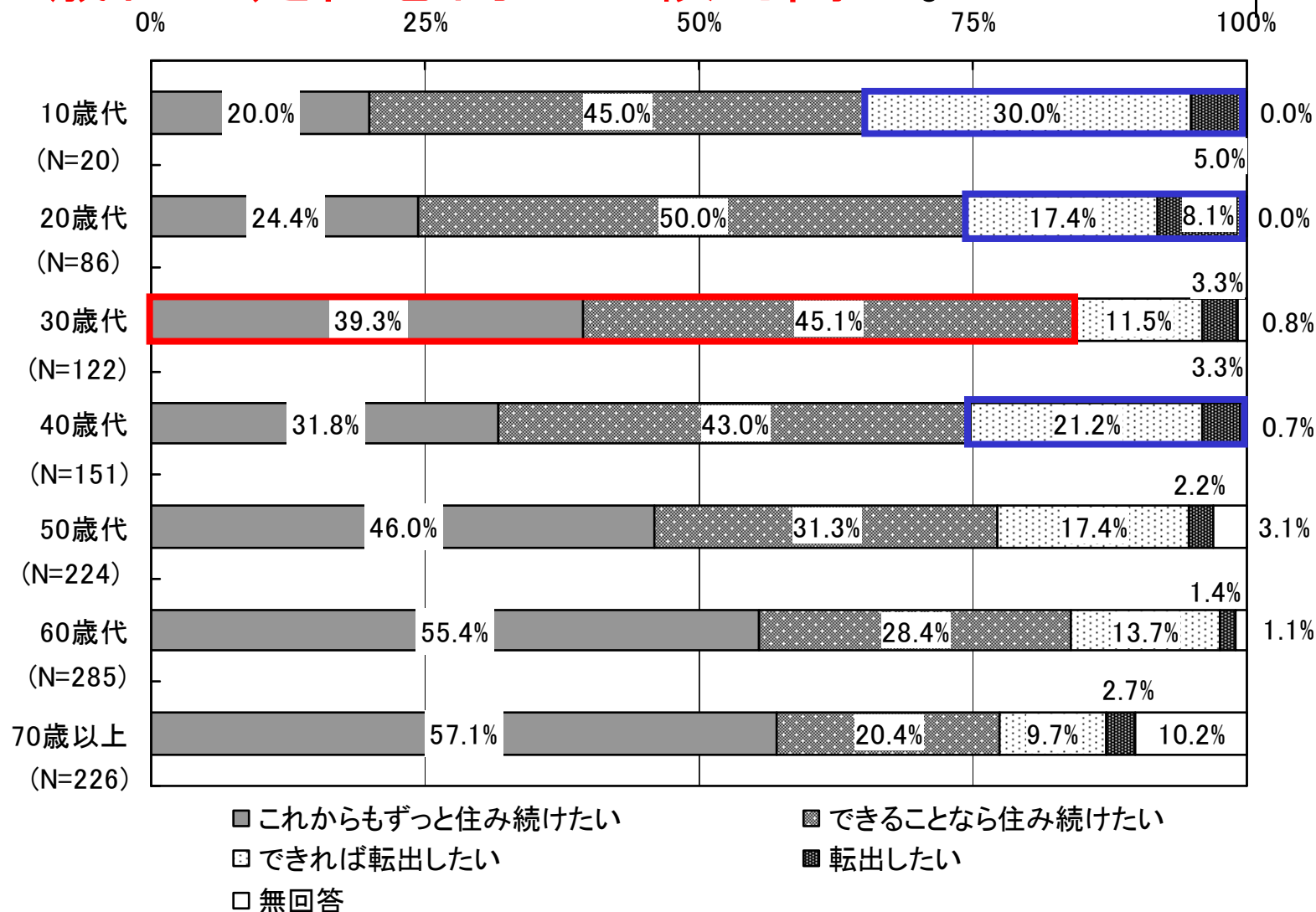
- 中心部地域が約82%と最も高い。
- 北部地域が約74%と最も低い。



これからもずっと住みたい
  できることなら住みたい  
 できれば転出したい
  転出したい  
 無回答

# 年代別の傾向

- 40歳代以下の転出意向が高い中で、  
30歳代は定住意向が比較的高い。



# 問7 これまでのまちづくりの取り組みに対する評価



- 「景観の形成」は高評価
- 「生活環境の改善」「土地利用の仕方」は低評価

